

スタートアップ部門 まちづくり活動計画書

1 助成を受けようとするまちづくり活動について

団 体 名	池上台ハウス管理運営委員会		
まちづくり活動名	まちの縁側づくり		
活 動 地 域	名古屋市緑区池上台三丁目及びその周辺		
活動の背景	2016年山田宅の空スペースで、お茶会や勉強会、会議等の活用が始まった。擁壁の造り直しが必要となったのを機に、築50年の古家を解体し集会所やまちの縁側として使いやすい設計の希望を聞いて新築することとした。今後の運営について協働で進めていくために2018年1月より利用者会議を開催し、規約やルール、自治会との協定等を検討した。建物完成に合わせて2018年6月に管理運営委員会を組織した。		
目的・目標	■目 的 安心して暮らし続けられるまちづくり ～誰でも気軽に立ち寄れるまちの縁側の実現～ ■目 標 ①住民が協働で進めるまちづくり活動の意義を認識する。 ②多くの住民に広報しハウスの利用者増を図る。 ③HPの閲覧により予約状況がわかることで運営委員の負担軽減を図る。 ■成 果 ①まちづくり講座を開催しこれからの時代に即した課題を整理する。 ②HP情報を反映した改訂版「池上台ハウス利用のしおり」が完成する。 ③HPで予約状況の確認とメールによる予約システムが構築されることで、利便性が向上する。		
活動内容	① 緑保健センターの保健師の派遣を要請し、WITH コロナ時代の安心安全まちづくりをテーマにした出前講座を開催する。 ② HP情報を反映した改訂版「池上台ハウス利用のしおり」を制作する。 ③ HP制作→説明会・練習会の実施→新しい広報活動とスマートな予約システムを構築し運用する。		
活動予定期間	2020年7月～2020年11月	助成金交付申請額	50,000円

2 まちづくり活動の視点 以下の視点でまちづくり活動内容についてご記入ください。

審査基準①	・地域に根ざしたまちづくり活動内容か
必要性	・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・活動の実施にあたって、まちづくり助成金が必要な活動か ・活動メンバーのみの趣味や仲間づくりではなく、多くの人に理解や共感が得られる活動か
① 近年高齢女性の一人暮らしが増えている、また育児休暇を長くとらずに急いで職場復帰する母親が増えている等の状況から身体的に精神的に昼間の暮らしに不安を持つ方が多い。専門的な施設のお世話になる手前の一人で歩いて来られる方のために日頃の顔が見える関係を広げ、フレイル予防や健康づくりのための拠点となるまちのたまり場活動のニーズが高まっている。 ② 健康講座やお茶会などは誰でもが気軽に参加でき、おしゃべりや歌を楽しみながら交流を深め認知症になっても要介護になっても安心してこのまちに住み続けられるという安心感や信頼感を深めていける。 ③ 安価な利用料を設定していることや近隣の迷惑や心配を考慮し、利用枠いっぱい詰めて利用者を募集するようなことは避けてきた経緯があるが、運営費と収入は全くアンバランスで開設以来経営は厳しい。また新型コロナウイルス感染拡大の影響で利用者が一時的に激減しさらに厳しくなった。助成金を活用してHPによる広報や予約システムにより利用者増につなげたい。	
審査基準②	・活動内容が具体的にになっているか
実現性	・活動内容や資金計画などは妥当か ・人員や規模などは妥当か
① 今まで紙上で予約していたが、遠方の方や多忙な方には不自由であった。また今般の感染症予防の見地からも、新規にHPを制作し、予約カレンダーを閲覧できるようにし、管理者に連絡を入れて予約が完了するようにしたい。また連動してHP情報を反映した「ハウス利用のしおり」を改訂制作したい。 ② 助成金の5万円でHP制作とともに説明会や練習会を開催し登録団体代表者が安心して閲覧や連絡の操作ができるようにする。 ③ 運営委員は8名おり、利用団体のリーダーである。外部講師を招くまちづくり学習会開催についても妥当な規模で開催可能である。	

審査基準③	・ 今後の活動の発展に向けての視点や計画があるか
発展性	・ 活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか
① 開設時にHP制作は構想していたが、近隣の不安や要望を受けていきなりのスタートダッシュはせずに自治会の回覧板を活用した宣伝と登録した利用団体の紹介程度の新規利用者受け入れのレベルで様子を見ながら運営してきた。 ② 今後HP開設により新しい利用者が増えれば現在の利用者にとってもより交流を深める機会となり、相互に刺激を受けて豊かな活動に発展していける。 ③ 空き家活用の効果は知られてはいても実際に提供していただくところは難しいと聞いている。子どもや高齢者の足で歩いて行けるところに特徴の異なるまちの縁側がいくつかできれば、毎日の楽しみが増え健全な生活につながる。楽しく豊かな営みの実践が広く知られれば名古屋流まちの縁側づくり運動に発展する可能性も十分ある。	

3 活動にあたり他団体（町内会、自治会他）、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等を取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
池上自治会	緊急時における協力に関する協定(2018年6月1日)を締結。
池上自治会・若草会（老人会） 南医療生協新海東支部・緑区栄養士連絡会・みどり子育て応援団（えがおたいむ）	管理運営委員としての協力（2018年6月～） 毎月定例の会合を開催し、管理運営上の課題や計画を話し合い、自治会回覧板での活動告知、および南医療生協の各支部への活動告知をしている。 行事開催にあたっては人的ネットワークで支援をいただく。
名古屋市緑保健センター保健予防課	2020年9月10日（木）13:00～15:00 「コロナ時代の安心安全まちづくり」学習会講師派遣要請済み。（2020年7月14日）

まちづくり活動の実施スケジュール

・活動の実施日だけでなく、それに向けた準備（団体の打ち合わせ、広報）についても具体的に記入してください。

・1ページに収まるように記入してください。

年	月	活動項目	活動内容
2020	7	まちづくり助成金申請	助成金申請の対象となるのか？相談・申請
		HP内容について検討	HP制作依頼
	8	HP内容について検討	HP内容確認
	9	まちづくり勉強会	講師を招きまちづくり勉強会とともに説明会を開催
		予約の仕組み説明会	管理人による説明
		利用のしおり検討・改訂	広報は自治会回覧、各団体を通じての宣伝等 改訂事項を整理しHP情報を反映したしおりを制作
	10	予約に関する練習会	管理人による指導、運用開始
2021	11	活動の成果まとめ	HPや予約システム運用の効果、改訂版しおりの効果等について検討し活動実績報告書の作成・提出
	12		
	1		
2021	2		
	3		

*管理運営委員会は毎月1回定例開催している。

*まちづくり勉強会の外部講師：緑保健センター保健師

テーマ：WITH コロナ時代の安心安全なまちづくり活動とは？

～個人ができること、地域ができること、行政ができることを一緒に考えよう～

開催日時：2020年9月10日（木）13：00～15：00

会 場： 池上台ハウス

第2号の3様式（公開）

まちづくり活動の予算書

1 支出

計画書における支出（予算）をご記入ください。

費目		活動項目	内訳・算出根拠	金額（円）
まちづくり活動助成金（申請金額）				50,000
活動 経費 の内 訳	消耗品費	まちづくり勉強会 HP 説明会・練習会	模造紙・マーカー・付箋紙など事務用品 (計3回分)	3,000
	謝金	まちづくり勉強会 HP 説明会・練習会	講師謝金 10,000円 講師謝金 2回分 10,000円	20,000
	交通費	講師交通費	講師交通費	3,000
	印刷費	チラシ・しおり作成 勉強会練習会資料	紙 1,000枚 印刷費 1,000円	2,000
	通信連絡費	チラシ郵送	封筒、切手	2,000
	消耗品費	外部講師・参加者の お茶代		2,000
	その他経費	HP制作協力費		24,000円
支出合計				56,000円

* 保健師の派遣は出前講座扱いで無料となるが、感染状況の拡大によっては中止となる可能性がある。

ほかの講師で別の勉強会開催となる場合に備え予算化しておきたい。